

赤い靴通信 422号

5月3日(火・祝)には、「コロナ禍で中止になっていた」ザ・よこはまパレード」が2年ぶりに復活しました。出発地の地元いながら1週間前まで開催を知らなかったのです。道路でぶつ見た標識「5月3日はパレードのためこの道は通れません」の立て札で始めて知りました。トライアスロンも14日・15日と横浜港であったのです。このところ多少のコロナ禍がスローダウンになって、韓国は5月1日から屋外ではマスクはいらなくなることになりました。旅行者も多くなり新幹線は満席、ハワイ行きは指定券とれずと報道されていましたが、マスクを離せない私などは未だ未だ心配です。しかしパレードとなることは違います。子供の頃から太鼓が好きだと言っていた私はドラムマーチにワクワクしてしまつたのです。今年は節目の70回の事ですが、私は第1回から見えています。知事、市長、商工会議所会頭が先頭の手を振り、鷲の木遣り、米軍の軍楽隊、大学・高校・中学・ジュニアのブラスバンドやバントワリングが多いのですが、県警、消防、税関の音楽隊も出演していました。その他参加の皆さんは、この際とはばかり気合いたつぷりの演技と笑顔を見せてくれました。やっぱりいいですね。フロートは4台しかありませんでしたが、行事はとぎれず継続することによって未来へつなぐと思えます。私たちの事業団でも、かつて赤い靴ジュニアコーラスが、知事、市長、会頭の車に一人ずつ同乗したり、横浜市民ミュージカルでは船の山車の前後で大勢の皆さんが踊って参加しましたし、横浜バイスタースのフロートと共にダンスして参加もしました。

その昔の大名行列は別として日本で始めて洋風パレードと言つものが行われたのが幕末の横浜です。この様は一作年私たちの横浜市民ミュージカルが公演し、大きな拍手を頂いた作品「横浜どんたく」です。開港当時、多くの外国人が日本に来て西洋文化を残したのですが、これを良しとしない者も多く、対外国人との殺傷事件が多くありました。そこでその国の国民を守るため幕府は軍隊の駐留を認め、アメリカ、イギリス、フランス、オランダの軍隊が横浜に駐屯したのです。フランス兵は軍服が青いので青隊といいました。今の港の見える丘のフランス山に兵舎がありました。イギリス兵の軍服は赤いので赤隊と横浜の人は呼んでいました。イギリス館の並びが兵舎で町の人はこの部隊が20連隊なので「トワンテヤマ」と呼びました。赤い靴ジュニアコーラスはこの名に由来しております。その兵隊さんたちが町の人に「仲良くしてくれ」と笑顔で行進し、家族たちもそれぞれお国の小旗を振って歩きました。

「どんたく」はオランダ語で「日曜日」のことです。新語づくりが好きでな横浜人は「土曜日のこと」を半日休みなので「半どん」と呼びました。その「横浜どんたく」の公演の日、「コロナ陽性の人が多く出た旅客船ダイヤモンドプリンセス号が横浜港に接岸したのです。マスクなど誰もかけることすら想像もつきませんでした。中止したらどうかの電話も多くなりましたが、「いやこちらでは極めて平和です。今日はやりませよ」と伝えました。ミュージカルは大成で無事終わりましたが、その日から先の見えないコロナ禍が始まりました。その時はこの様に長く、全世界の多くの方が罹患し、お亡くなりになると思ひもよらないことでした。ゴールデンウィー



横浜市民子どもミュージカル始動！



101歳になられた蒲田(かつきた)敏子さんを囲んで！

第35期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
 開催日：6月26日(日) 14:00 開演
 会場：杉田劇場 / 全員ご招待！
 観覧ご希望の方は上記赤い靴事務局まで
 事前申し込みが必要です。

クから行政は旅行、イベントなど前の楽しい頃に戻る方向に梶を切っていますが、まだ収束ではありません。気を緩めないようしましょう。

さて、話は変わりますが、5月5日の子供の日。神奈川新聞の表紙、正に1ページに7歳の男の子・小2の大坂聡志君が「アヤトリの教室指導員」を認定されたという記事がありました。ご覧なられた方もお知りませんが、驚きました。パソコンなど無い頃、いわゆる昔はいろいろな遊びを考えたり人がいます。私の子供の頃は、男の子は「メンコ」丸いカードをお互いに持ち、相手が絵の描いてある面を上にして置き、その横に力を入れて投げつけ、おいてあるメンコをひっくり返すのです。また「ベーゴマ」は金属の小さい駒をキャンパスの土俵に投げ込み相手の駒を表にはじき出した方が勝ちのゲームです。その他にもかくれんぼ、たこあげ、駒、縄跳び、カルタ、双六、折り紙、けん玉、おはじき、ビー玉、竹馬、鬼ごっこなどよく考えましたね。それぞれが皆運動神経や、ものを考える力を育成するのです。今はパソコンやスマホのゲームで電車の中でも一人で遊んでいる人もいますが、大阪君は指導者の試験を全て合格。「読解力、空間認知能力、指の再現力」に秀でているそうです。一般の手法では500位あるそうですが、彼は200ほど新しい手法を考えたといいいます。考える力は集中力に役立つし、指を使うことは健康にも非常に良いのです。興味を持った人は年配の方に昔の遊びを訊いて下さいね。

そして5月18日に「ザ・シワクチャーズ横浜」「世界の名歌」のメンバー・蒲田敏子さんが、101歳になられました。今なお現役で鎌倉彫、コーラスで活躍中です。また6月26日(日)は赤い靴ジュニアコーラスの定演です。素晴らしい歌声にご期待ください。そして、子どもミュージカル「横浜三塔ねこ物語2022」のレッスンが始動し、子供たちの目に好奇心が満ちていました。神奈川県ミュージカルコンペでかつて最優秀賞に輝いた作品です。横浜にそびえる3つの塔。キング(県庁)クイーン(税関)ジャック(開港記念会館)に野良猫たちが願いを込めて、地元を舞台に猫たちが奮闘するハートフルミュージカルです。公演は8月6日(土)・7日(日) 関内ホール・小ホールです。これから楽しみがいっぱい입니다。

2022年5月31日

団長 松永 春

今後のスケジュール

★6月26日(日)
 第35期
 赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
 会場：杉田劇場
 出演：赤い靴テンドーフト(ATF)
 赤い靴ジュニアコーラス青隊、
 赤隊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
 時間：14:00開演(開場13:30)
 ※全員ご招待(要事前申込み)

★7月31日(日)
 第16回
 中区ダンスフェスティバル2022
 会場：関内ホール・大ホール
 料金：600円
 時間：時間帯は後日ご案内

★8/6(土)・8/7(日)
 横浜市民子どもミュージカル
 「横浜三塔ねこ物語2022」
 会場：関内ホール・小ホール
 公演は各日2回公演・全4回
 ※詳細は後日ご案内

★8/19(金)
 「第16回東六冠」
 会場：元町あかいくつスタジオ
 ※ザ・シワクチャーズ横浜 他